



令和 8 年 (2026 年) 2 月 17 日 公表
 令和 7 年版 山口県日本海側重要魚種の資源評価

ウルメイワシ (対馬暖流系群)

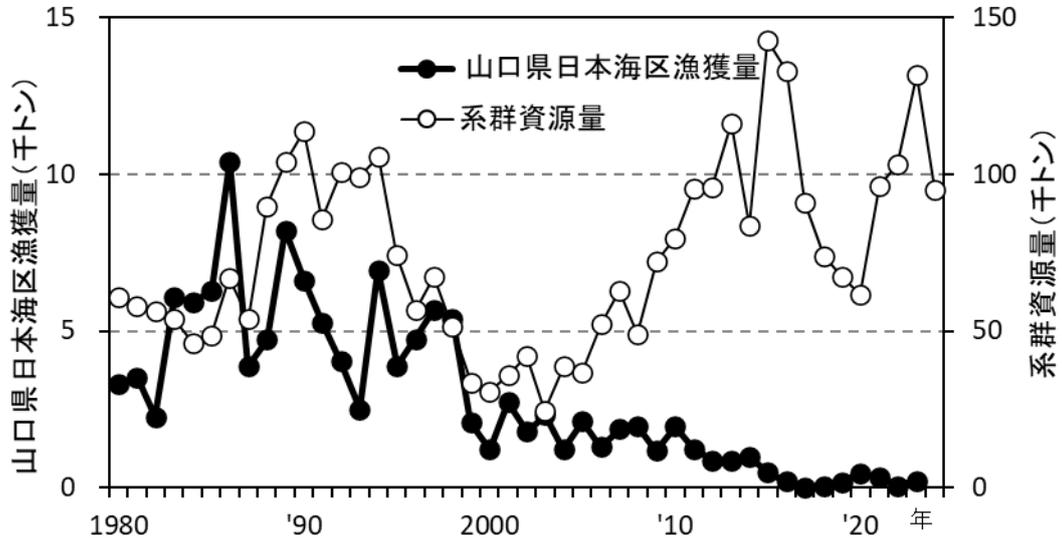


図 山口県日本海区ウルメイワシ漁獲量 (漁業・養殖業生産統計年報) 及び対馬暖流系群ウルメイワシ資源量 ((国研) 水産研究・教育機構 資源評価報告書) の推移

【漁業】ウルメイワシは主に棒受網により秋に小・中羽 (当歳魚) が漁獲されるほか、初夏に旋網により大羽 (1 歳魚以上) が漁獲される。

【漁獲量】山口県日本海区の漁獲量は、資源量の変動傾向と大きく異なり、1986 年の 10,418 トンをピークに、数年周期で増減を繰り返しながら顕著に減少し、2017 年には 19 トンになった。その後はやや増加し、2023 年は 232 トンであった。

【資源状態】資源量は 2004 年以降増加して 2015 年には 14 万トンを超えた。その後減少し 2020 年には 6.3 万トンになった。2021 年以降は再び増加し、2024 年は 9.5 万トンと推定された。

2024 年の親魚量 (SB) は最大持続生産量 (MSY) を実現する親魚量 (SB_{msy}: 目標管理基準値) を上回った。また、2024 年の漁獲圧 (F) は MSY を実現する漁獲圧 (F_{msy}) を上回った。親魚量の動向は増加と判断された。

2024 年漁獲量 (万トン)	MSY (万トン)	2024 年親魚量 (万トン)	目標管理基準値 (万トン)	限界管理基準値 (万トン)	禁漁水準 (万トン)
4.3	3.5	6.6	5.4	1.8	0.2